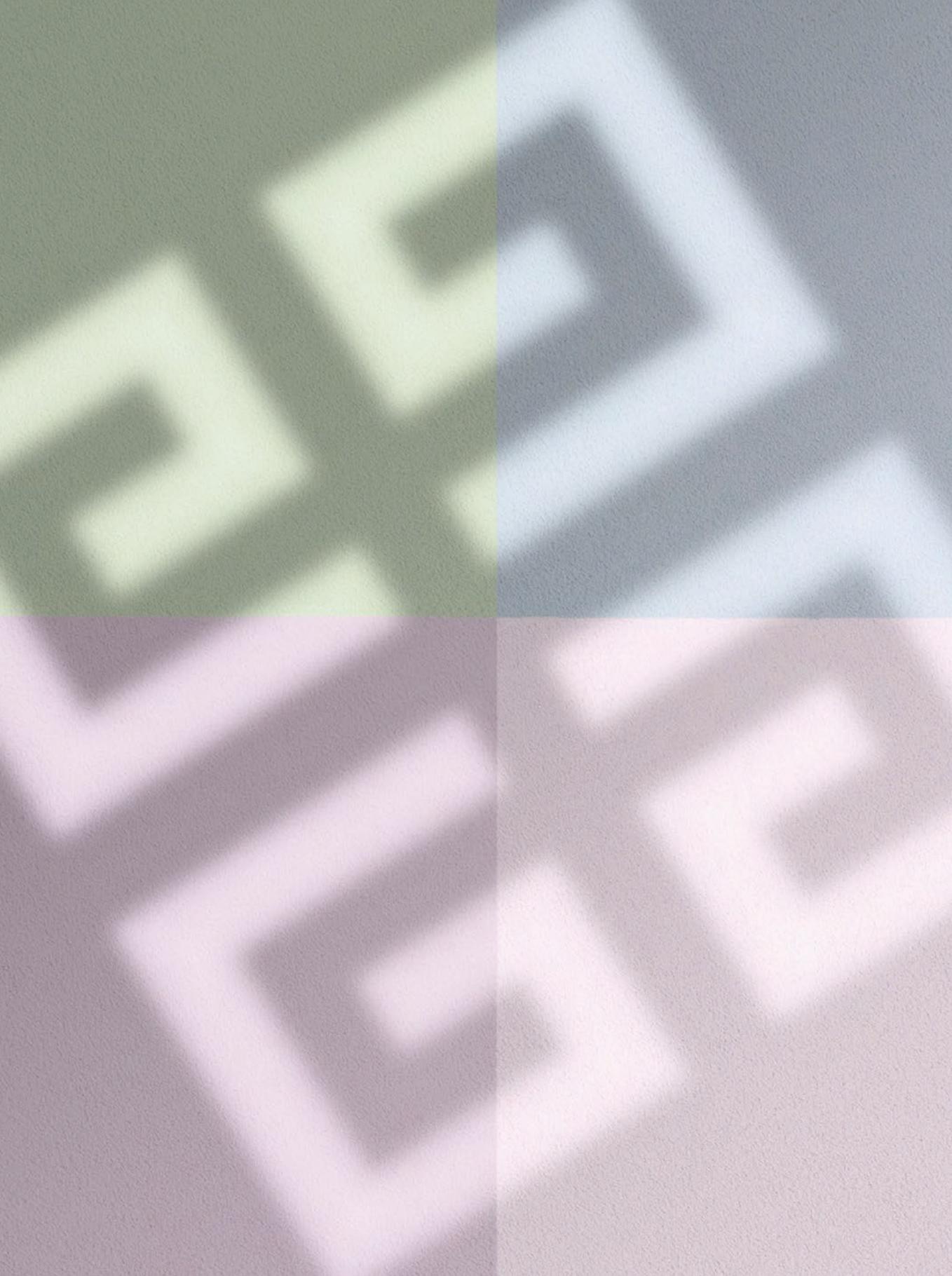


2022年 CSR戦略
企業の社会的責任への取り組み



パルファム ジバンシイ



03

はじめに

04

CSR戦略
「DARE TO REINVENT」計画

09

製品の改革

12

オペレーションの改革

15

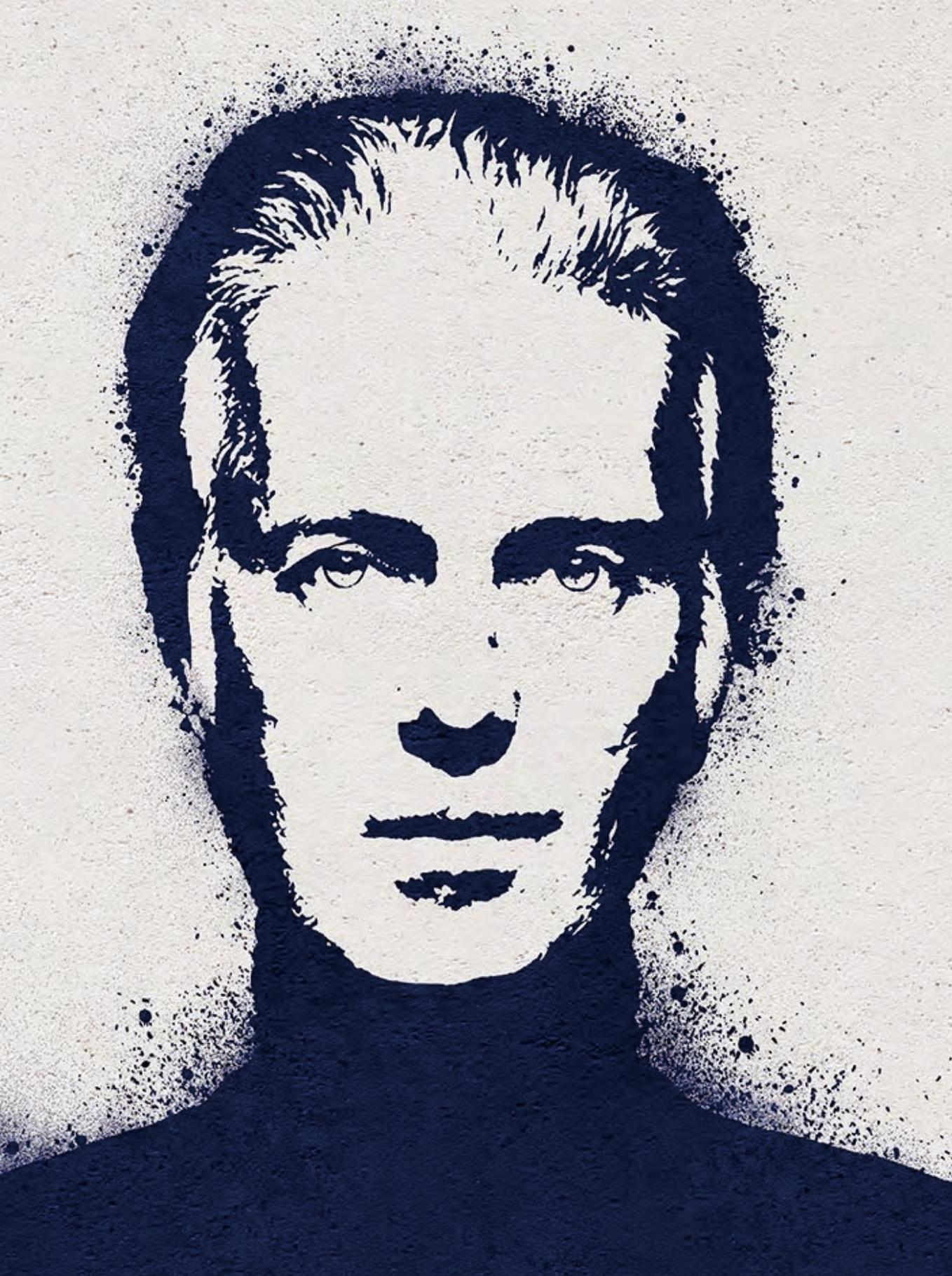
社会とのかかわり方の改革

17

チームの改革

19

2022年実績値



はじめに

「私たちのCSRアプローチには、先入観も表向きの思考もありません。それは私たちの好奇心の反映であり、持続可能性の測定基準となるものです。それはまた、創業者ユベール・ド・ジバンシイの直感の延長線上にあります。彼自身が40年以上にわたって固定観念に挑み、しきたりを打ち破り、クチュリエとしての職業を超えて、その時代と自身の夢に寄り添いつつ変化してきました。」

2022年、バルファム ジバンシイは情熱と、現実主義と、固い決意をもって、自らの改革を続けてきました。なぜなら、それがジバンシイの企業風土だからです。私たちのCSRへのアプローチは、先入観も表向きの思考もありません。それは私たちの好奇心の反映であり、持続可能性の測定基準となるものです。それはまた、創業者ユベール・ド・ジバンシイの直感の延長線上にあります。彼自身が40年以上にわたって固定観念に挑み、しきたりを打ち破り、クチュリエとしての職業を超えて、その時代と自身の夢に寄り添いつつ変化してきました。

2020年に開始した私たちのCSRの取り組みは、いま2年間を経て、改革へと進む積極的な活動となりました。私たちを取り巻く世界が直面する社会的・環境的課題に、より効果的に対処する視野をもって、私たちが成し遂げた前進を、この報告書として皆さんと分かち合えることを嬉しく思います。

この報告書では、気候変動に関するパリ協定の目標に沿った事業変革を支える、新たな気候変動対策計画もご紹介しています。

私たちはCSR戦略を通して、持続可能な開発の課題を、ジバンシイの製品開発プロセスの中に組み込んできており、カーボンフットプリントやエコデザインに関する新たな指標のモニタリングをしているほか、オペレーション方法を変更しています。

私たちは数多くの課題があること、そして私たちが急いで行動する必要があることを認識しています。バルファム ジバンシイでは、若い人たちの創造的エネルギーと新しいアイデアが原動力となっています。そして、常に進化していく世界を継承するという幸運に恵まれていることを、私たちはよく理解しています。そこでは、素晴らしい独創性と結実が生まれるからです。どうぞ一読ください。

バルファム ジバンシイ
会長兼CEO
ロマン・スピッツァー



CSR戦略

「DARE TO REINVENT」計画

かつてユベール・ド・ジバンシイが、決して学ぶことを止めなかったように、パルファム ジバンシイは「DARE TO REINVENT」計画と名付けたCSR戦略を通して、自らを改革することを選択しました。それは4つのコミットメントを軸に構築されていますが、何よりもまず、会社全体を巻き込んだ共同作業による体系的な

取り組みとなっています。そこでは中心となるCSRチームがリーダーとなり、社内チームの参画と社外のエキスパートの協力によって支えられています。パルファム ジバンシイのCSR戦略は、現在から2026年と2030年までの間のLVMHグループの環境戦略、「LIFE 360」プログラムと連携しています。

自らを改革するための 4つのコミットメント

1

製品の改革

処方組成とパッケージデザインに個別の注意を払うことによって。

2

オペレーションの改革

気候変動との闘いを支援するために。

3

社会とのかかわり方の改革

若者たちの心を鼓舞し、新たな機会を提供するような、私たちが共感する主張や活動を支援することによって。

4

チームの改革

尊重、ダイバーシティ、インクルージョンの風土を促進するために。



2025年/2030年までに
私たち自身をリイメントするための
10の目標

01

原産国・収穫国までさかのぼって天然原料の100%トレーサビリティを確保し、ジバンシイを象徴する成分に関して、2025年までの倫理的バイオトレード連合(UEBT)評価・認証プロセスを約束する。

02

新製品の100%が、規制要件よりも厳しい、ジバンシイの処方要件に適合することを保証する。

03

エコデザインを通して2025年までに、全パッケージの環境プロファイルを40%改善する(vs2017)。

04

2025年までに、使用する化石由来バージンプラスチックの量を30%削減し(vs2017)、リサイクルおよびバイオベース材料の使用を促進する。

05

スキンケア、フレグランス、メイクアップ製品での選別や、レフィル式パッケージの作成を奨励することで、より持続可能な消費形態を促進する。

06

ジバンシイのコミットメントについて、内外の全ステークホルダーに対し、透明性あるコミュニケーションを実践する。

07

2023年までに、FSC®(森林管理協議会)認証のある持続可能な方法で管理された森林または管理されたソースからの紙に100%切り替える。

08

2030年までに、カーボンフットプリントを26%削減する(vs2017)。

09

工場や市場への空輸を減らし、2025年までに海上輸送の利用を20ポイント増やす(vs2017)。

10

最も必要としている人々に機会提供をするプログラムを通して、若者たちと彼らの創造的精神を支援し、ジバンシイの従業員たちがこれらのプログラムに参加できるようにする。

製品の改革

処方と成分

2025年に向けて ジバンシイのコミットメント

01

原産国・収穫国までさかのぼって天然原料の100%トレーサビリティを提供し、ジバンシイの象徴的成分に関する倫理的バイオトレード連合(UEBT)の評価・認証プロセスを約束する。

02

スキンケア、メイクアップ、フレグランスの全処方を評価・最適化するための多面的な基準の指標を導入する。

03

新製品の100%が規制よりも厳しい、ジバンシイの処方要件に適合することを保証する。

ジバンシイの〈再〉処方指針

ジバンシイは世界で最も厳しい化粧品規制を遵守しており、先を見越して、特定成分を新処方から除去するための必要なステップを講じてきています。とりわけ合成シリコーンD5は、法的には許可されているものの、自然界における生分解性の観点から、その影響がジバンシイのコミットメントに合致するものではないため、現在では使用していません。ジバンシイではマイカについても、LVMHグループのマイカの責任ある取り組み(MRI)へのコミットメントに沿った鉱山の検証がされていない場合、インド産のマイカの使用を拒否しています。

天然・合成を問わず成分の選定はジバンシイ ラボラトリーズが行っており、品質、効果、安全性、環境への影響など、厳しい基準に基づいています。ジバンシイ ラボラトリーズはフランス国内にあり、その処方を6つのエコ処方基準(自然さの度合い、トレーサビリティのレベル、処方の生分解性と生態毒性、調達の持続可能性、処方中の成分数)に照らして、社内ツールを使用して

評価しています。このツールは化粧品の新処方を、チームで開発する手助けをする一方、顧客満足を保証するために、ジバンシイ製品に関する安全性、効果、感覚性の品質を確実なものとしします。

ジバンシイは、合成・天然成分のいずれにも反対することはありません。香水を構成するには、その両方が必要であることをよく知っているからです。ジバンシイのパフューマーたちの香りのパレットは、3000種類を超える香調からできており、それが人々や自然を尊重して調達された天然成分と、私たちが目指すべき、環境にやさしい化学から導き出された合成成分とが、バランスよく含まれていることを確信しています。これはジバンシイがパートナーたちとともに、私たちの製品で採用しているアプローチです。天然成分を選定する際、私たちはISO16128規格を参照しています。それは国際的レベルで、化粧品における自然さについての原則と基準を調和させているものです。

天然成分のトレーサビリティと調達

ジバンシイが天然原料を選定する際には、ワシントン条約(CITES:絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約)といった規制への適合性を確実にしています。

2022年より、ジバンシイは倫理的バイオトレード連合(UEBT)の会員になりました。2007年に設立されたこのNGO(非政府組織)は、生物多様性を尊重し、労働者と地域社会の権利を保護する調達を実践することを要求する基準で、国際的に認知されています。UEBT会員としてジバンシイは、人々と生物多様性を尊重する方法での調達に力を注いでいます。こうしたアプローチの一環として、ジバンシイはその象徴的な

サプライチェーンをすべて、2025年までにUEBT基準に従い評価することを約束しています。2022年12月時点では、ジバンシイを象徴する成分の66%がUEBT基準に従い評価されており、2021年の23%から大幅な上昇です。

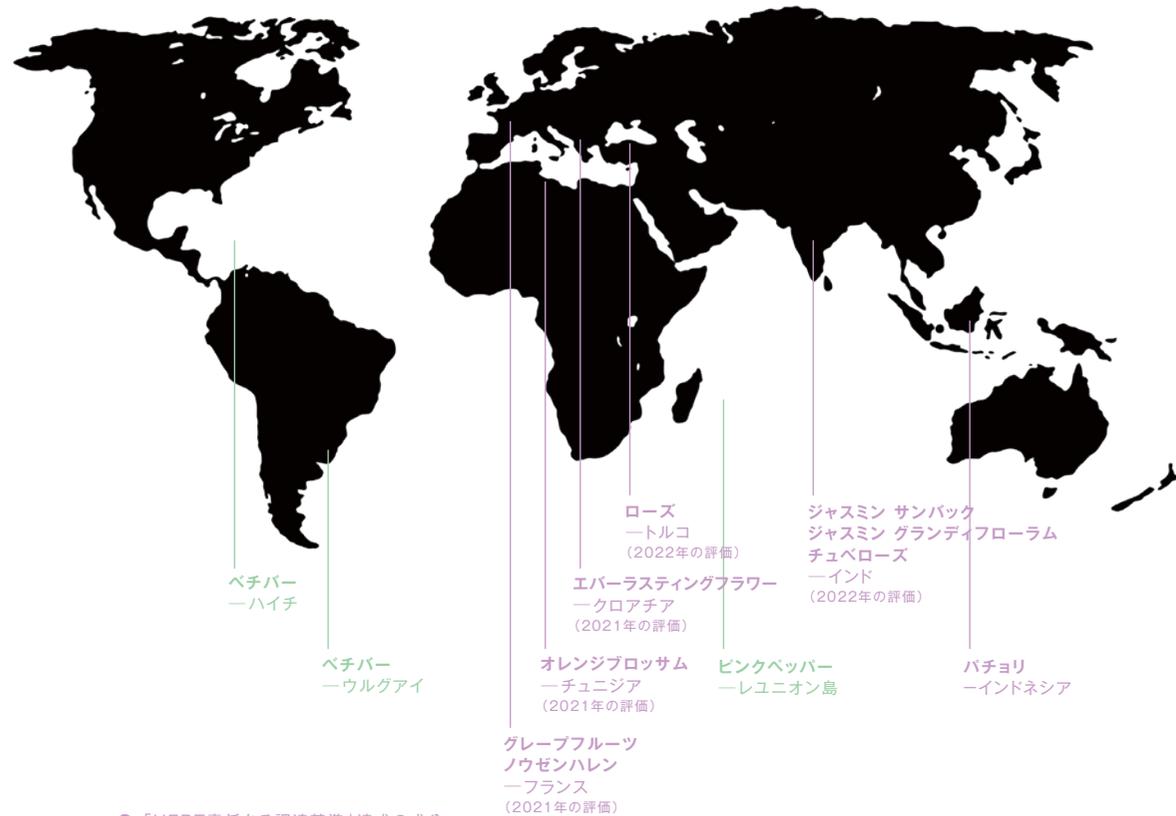
ジバンシイは2022年、責任ある調達方針の一環として、そのアルコールの主要サプライヤーとともに、数百ヘクタールに及ぶフランスのビーツ畑の агроエコロジーに則った転換を可能にするプログラムに協力しました。このプロジェクトの中で、ジバンシイは土壌品質の分析に特化したスタートアップ企業、ジェネシス社の参加を呼びかけました。

進展中の変革

パルファム ジバンシイは象徴的原材料の責任ある調達に取り組んでいます

66%

UEBT基準に従って評価されたジバンシイを象徴する成分
(2021年は23%)



● 「UEBT責任ある調達基準」達成の成分

● 評価段階*の成分

*「評価段階」とは、UEBT基準が要求する最低限の慣行とその7つの原則が適用され、尊重されていることをUEBTチームが現地にて認証しており、既に独立的に検証が行われていることを意味します。



製品パッケージの改革

前進するための測定

バルファム ジバンシイは、全パッケージの環境パフォーマンス指数 (EPI) を、2017年と比較して、2025年までに40%改善することを約束しています。EPI指数とは、ジバンシイのエコデザイン指針が、新製品すべてに正しく適用されていることを測定・評価するのに使用されます。

このツールは、処方量との関係における重量/体積比率、層数、重量軽減、環境にやさしい素材の組み込み、パッケージのリサイクル性、レフィルの可否といった基準に基づき、20点満点のスコアで計算します。

2025年に向けて 私たちの目標

01

全パッケージに関する環境パフォーマンス指数 (EPI) を
40%改善する。
(vs2017)

02

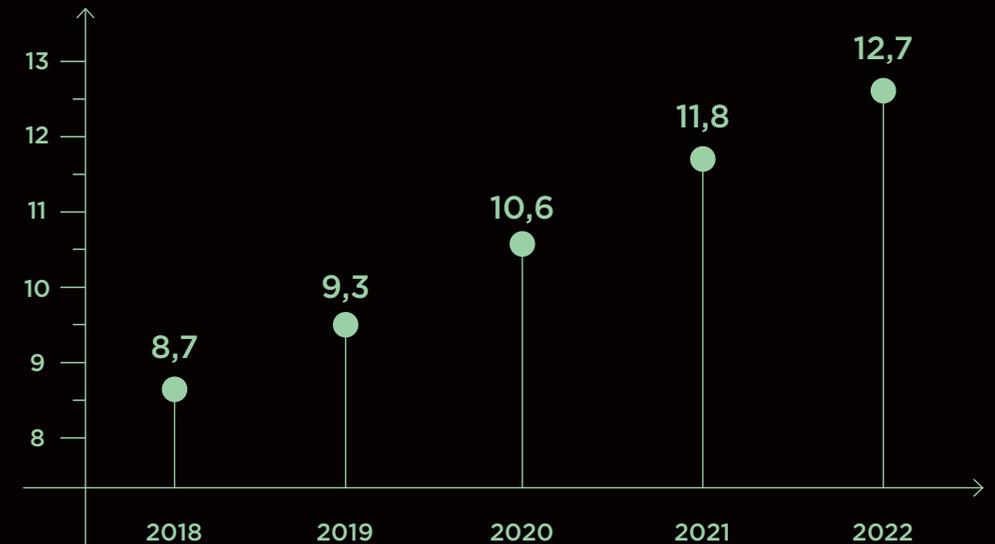
レフィルシステムの開発

03

リサイクルおよびバイオベース材料を推奨することにより、
使用する化石由来バージンプラスチックの量を30%削減する。
(vs2017)



発売品目に関する平均の環境パフォーマンス指数 (EPI)



製品カテゴリー別のEPI値の進展

	フレグランス 平均EPI	メイクアップ 平均EPI	スキンケア 平均EPI
2025年の目標	11	10	12
2022年の状況	10.4	12.9	14.8
目標達成状況	進展中	超過	超過



より軽量に より小さく

パッケージの重さと体積を減らすことは、ジバンシイが実施しようとする最初のエコデザイン対策です。こうしたアプローチに対するバルファム ジバンシイのコミットメントは、2022年には次の3つの大型製品発売に反映されています：

- ジバンシイの歴史に残るタイムレスな名品フレグランスを、まとめて新たなボトルに収めたコレクション「レ・ミティック」。2022年に発売された6種類のフレグランスのうち、5品については従来の歴史的ボトルと比べて、ガラス重量が少なくとも15%低減されています。

- 新たな「ランテルディ オーデトワレ」の発売は、従来より10%少ないガラスを使った新ボトルを提供する機会となりました。

- 同年のプレミアム・スキンケア「ソワン ノワール」シリーズからの新製品は、ジバンシイが推進するエコデザイン指針に沿ったものとなっています。新しい「ソワン ノワール プラン マスク N」は46%小型化されたジャーに収められ、「ソワン ノワール クレーム ユー N」は44%軽量化されました。

そして 環境に やさしい 素材を

バルファム ジバンシイは化石由来バージンプラスチックの消費を、2025年までに30%低減することを約束しています。この取り組みは、一定のプラスチックコンポーネントをガラスに置き換えることを意味しており、2022年に発売された新「ローズ・パーフェクト・リキッド」が一例で、再生素材やバイオベース素材を使用しています。2019年から2022年の期間に、化石由来バージンプラスチックの平均比率は18%低減されました。

2019年の既存製品では、化石由来バージンプラスチックの比率は平均39.5%でしたが、2022年末には32.4%に下がっています。ジバンシイは2022年、その優先順位を再検証するために、使用するプラスチックの低炭素軌道を見直しました。それにより、「ランテルディ」シリーズで使用するサーリン樹脂の代替品を見つけたり、再生素材をフレグランスサンプル容器に組み入れたり、再生素材やバイオベース素材を、それらがまだ含まれていない、ジバンシイのアイコン製品に採用することにつながりました。

再生素材を組み入れることは、ガラスボトルにおいても進められています。2022年12月時点で、ジバンシイのガラスボトルとジャーの48%が、「PCR」ガラスとして一般的に知られる再生ガラスを組み込んでおり、この数字は2021年12月で6%にすぎませんでした。ジバンシイ製品のための紙パッケージはすべて、100%持続可能な方法で管理された森林もしくは管理されたソースに由来しており、それはFSC®（森林管理協議会）認証を受けています。

さらに 多くの レフィルを

ジバンシイでの優先事項のひとつは、2025年までに象徴的なアイコン製品のすべてにおいてレフィルタイプを提供することです。これまでジバンシイは、「ソワン ノワール」と「スキン リソース」のクリーム類、リップスティックのいくつか、そしてタン・クチュール・クッションが、簡単にレフィル交換できるようデザインされています。2021年に開発したリップスティックのレフィルシステムも、2022年に新しくなった「ルージュ・アンテルディ・シルキー」で展開しています。こうした2022年の旗艦製品では、もっとも代表的なアイコンカラーにのみレフィルタイプを採用しました。

28%

2022年12月時点で、ジバンシイ製品の28%が、リサイクルまたはバイオ由来のプラスチックを含んでいます(2021年は7%)。



プリズム・リーブル・スキんケアリング・マット
キャップの72%が再生プラスチック



プリズム・リーブル・プレップ&セット・グロウ・ミスト
キャップの30%が再生プラスチック



ルージュ・アンテルディ・シルキー
キャップの30%が再生プラスチック



プリズム・リーブル・スキんケアリング・グロウ
キャップの72%が再生プラスチック



プリズム・リーブル・スキんケアリング・コンシーラー
プリズム・リーブル・スキんケアリング・コレクター
キャップの30%が再生プラスチック



ランテルディ ボディミルク
ボトルの50%が再生プラスチック



ランテルディ シャワーオイル
ボトルの50%が再生プラスチック



パルファム ジバンシイ & DESSERTO社 サボテン由来のパッケージへのコミットメント

メイクアップで世界初、「ローズ・パーフェクト・リキッド」のキャップは、ジバンシイのために特別にデザインされた、サボテン由来のヴィーガンレザーで覆われています。パルファム ジバンシイはメキシコのスタートアップ企業DESSERTO社と協力し、1年間の研究開発を経て、動物由来に代わる素材を完成させました。この新素材は2020年のLVMHイノベーションアワードで、審査員賞を受賞しています。材料のサボテンは登録農家で収穫され、社会的・環境的監査の対象となっています。

DESSERTO社のプランテーションでは有機栽培が行われており、USDA (米国農務省)*認証を獲得しています。

「ローズ・パーフェクト・リキッド」は、リサイクル可能なガラスボトルを全面的に使用した、ジバンシイ初のリップ バームです。

*USDA認証とは、サボテンが有機農法によって栽培されていることを証明するもので、それを示すUSDAラベルは米国農務省によって与えられます。

オペレーションの改革

2030年に向けて 私たちの目標

01

2026年までに全拠点で、
100%低炭素エネルギーを達成する。

02

自社オペレーションからの
温室効果ガス排出量を削減する。
(vs2021)

03

ジバンスイのバリューチェーンからの
温室効果ガス排出量を削減する。
(vs2021)

これらの目標は私たち自身で設定したもので、SBTi(科学に基づく目標設定イニシアティブ Science-Based Targets Initiative)認定を取得している、LVMHグループの低炭素軌道に完全に則っています。それらは2022年に、外部のコンサルタント会社 Carbone4のサポートを得て作成・評価されており、絶対的には現在から2030年の間における、WB2D(Well Below 2Degree:2℃を十分に下回る)削減シナリオに基づいています(vs2021)。

自分たちのカーボンフットプリントを理解する

2022年のLVMHフレグランスブランドのカーボンフットプリントは76,000t-CO₂eq(二酸化炭素換算トン)でした。自社活動によるスコープ1と2からの排出量は、フットプリントの3%を占めるにとどまり、サプライチェーン全体を含めたスコープ3の排出量が97%です。LVMHフレグランスブランドのカーボンフットプリントは2021年から2022年の間に4%減少しています。

CO₂排出量の比較

(二酸化炭素換算トン)

2021年*~2022年



*データは2021年と2022年を比較可能な範囲について再換算したもの



前進するために測定する

バルファム ジバンシイでは、低炭素軌道の管理は、自社が及ぼす影響について、正確なデータを定期的に収集する能力によって左右されることを確信しています。だからこそ私たちは2022年に、**温室効果ガス(GHG)プロトコルに従った年次カーボン監査を実施すること**

温室効果ガス排出量を削減する 自社活動からの排出量(スコープ1・2)

バルファム ジバンシイの2つの生産拠点は、フランス国内にあります。それらは**2015年よりISO14001認証を取得しており**、その環境パフォーマンスを改善するために進められている投資の恩恵を受けています。現場のエネルギー戦略は、消費エネルギーの削減と、化石燃料を低炭素エネルギーに置き換えるという2つの指針に基づいています。ジバンシイは2022年、低エネルギー消費型のボイラーに投資しており、暖房温度も21℃から19℃に下げました。この2つのアクションは、工場における全体のエネルギー消費を、2021年に比べて7%削減することに寄与しました。

温室効果ガス排出量を削減する 私たちのバリューチェーンからの排出量(スコープ3)

当社の温室効果ガス排出量の97%は、そのバリューチェーンに由来します。**輸送の流れとパッケージ用原材料が、バルファム ジバンシイ全体のフットプリントの48%と25%をそれぞれ占めています**。これらは現時点において、私たちにとって2つの優先事項となっています。フランスにあるバルファム ジバンシイの倉庫から、アジア市場に向けた製品出荷は、圧倒的に最大インパクトのある流れであり、下流への輸送フローに関連するカーボンフットプリントの70%を占めています。こうした状況を背景に、また私たちが直面する物流および商業面での課題に対応するために、サプライチェーン・チームは新たな物流拠点をシンガポールに、2022年に設立する努力をしています。この新倉庫を通して、**製品輸送での船舶利用を拡大することにより、**

にしています。さらに、低炭素軌道のダイナミックな管理をするために、バルファム ジバンシイは2022年、製品番号、国、製品タイプ(新製品、既存品、販促品等)別に、ジバンシイ製品の配送方法をチームが正確にモニタリングできる、新たな社内ツールを開発しました。

それと同時にバルファム ジバンシイは、その主要工場の屋根に太陽光パネルを設置しており、2022年以降は、製品生産で使用されるエネルギーの脱炭素化に貢献しています。**全体としてバルファム ジバンシイは、その拠点でのエネルギー使用に伴うカーボンフットプリントを、2021年から2022年の間に16%削減しています**。次の年には、バイオメタンによる天然ガスの置き換えが、カーボン負荷に大幅な改善をもたらすことでしょう。2022年までに、当社のフランス拠点の100%で、再生可能資源による電力を使用する予定です。

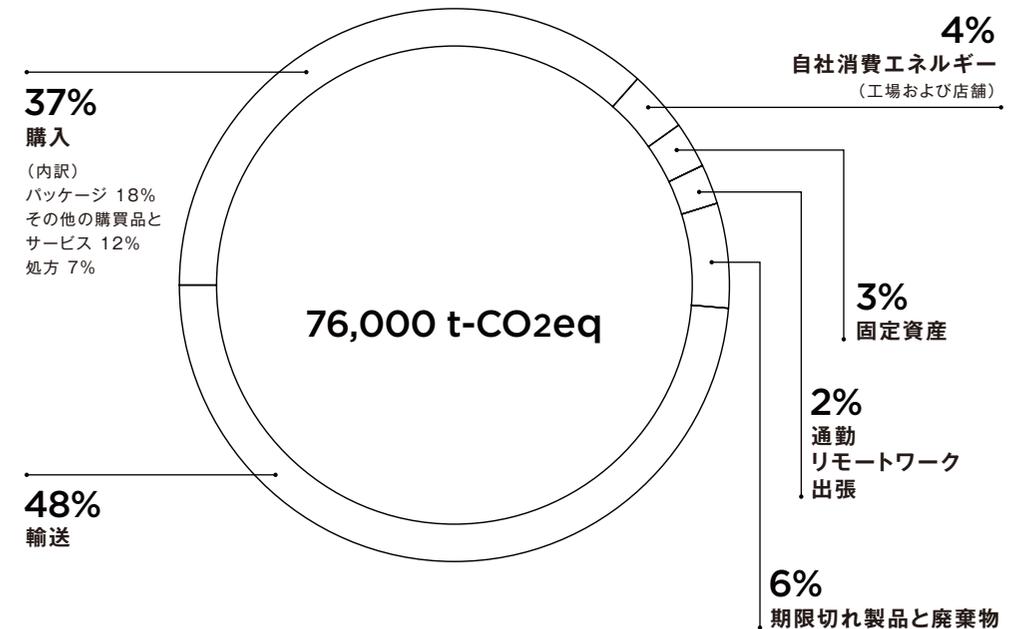
私たちは温室効果ガス排出量を8,000トン以上削減する計画です。こうした取り組みに続いて2023年に、アジア太平洋地域に次ぐ第2の大きな輸送フローである、中国市場への配送に着目することにより、脱炭素化戦略を強化することとしています。それと同時に2022年には、リサイクル材料を製品に取り入れる努力を継続しており、それによっても、パッケージのカーボン負荷を低減させています。2022年末までには、ジバンシイのガラスボトルとジャーの51%が、「PCR」ガラスとして一般的に知られる再生ガラスを含むものとなる予定で、2021年12月の25%から大きな進展です。リサイクルもしくはバイオ由来のプラスチックを含む製品比率は、その1年前に7%だったのが、2022年12月には28%に達しました。

気候変動問題対策ワークショップに参加

2022年、**執行委員会と各国責任者を含む、バルファム ジバンシイのリーダーシップチーム全員が、国際セミナーでのCLIMATE FRESKによるワークショップに参加しました**。CLIMATE FRESKとはフランスの非営利団体で、専門家や職業人が参加する共同シミュレーションゲームを通して、気候変動に関する認識を高めることを目指しています。ジバンシイのCSRチームは、この意識啓発ツールの手法について研修を受けて

おり、ワークショップを社内開催することができます。それにより参加者たちは気候変動についての理解を深め、緊急に取り組むべき課題として、すぐに着手できるようになりました。この第1回のワークショップに加えて、2022年にスタッフ向けのワークショップも計画されており、2023年にはさらに多くの回の構想があります。

LVMHフレグランスブランド 2022年カーボンフットプリント





2030年までに
カーボンフットプリントを26%削減するために
達成すべき8つの優先プロジェクト
(vs2021)

輸送

01

ツール

温室効果ガス排出量を
ダイナミックに
測定するツール

02

航空便

アジア太平洋地域の
航空輸送依存を抑える
(中国を除く)

03

RAMA

RAMA (船便の使用率)を
モニターし、2025年までに
70%を達成する

パッケージ

04

プラスチック

コンポーネントを軽量化し、
リサイクル材料を
取り入れることにより、
パッケージにおける化石由来
バージンプラスチック比率を
30%削減する。

05

ガラス

再生ガラスをフレグランスの
ガラスボトルの中に
使用する。

06

レフィル対応

対象レンジを絞り、
レフィル対応製品を
開発する。

エネルギー

07

エネルギー

全拠点で100%
低炭素エネルギーを
達成する。

サプライヤー

08

協力体制

低炭素軌道のSBTi認定を
取得したサプライヤーとの
協力を促進する。

社会とのかかわり方の改革

メンター・プログラム

私たちの目標

ジバンシイのスタッフが
就業時間中にメンター・プログラムに協力

「LIVE」雇用支援のための職業訓練施設

(L'Institut des Vocations pour l'Emploi)

パルファム ジバンシイは2020年より、再雇用を目指す人々を支援する教育施設「LIVE」のパートナーになっています。LVMHグループが設立したこの施設は、4つのキャンパスに毎年400~500人を受け入れており、パリ郊外クリシー=ス=ボワでは約100人が学んでいます。ここでは英語や文化・歴史、数学など、一般的なスキルを強化するだけでなく、一人ひとりのキャリアプランを実践に結び付けるために設計された、職業体験や履歴書作成、面接でのプレゼンテーション練習

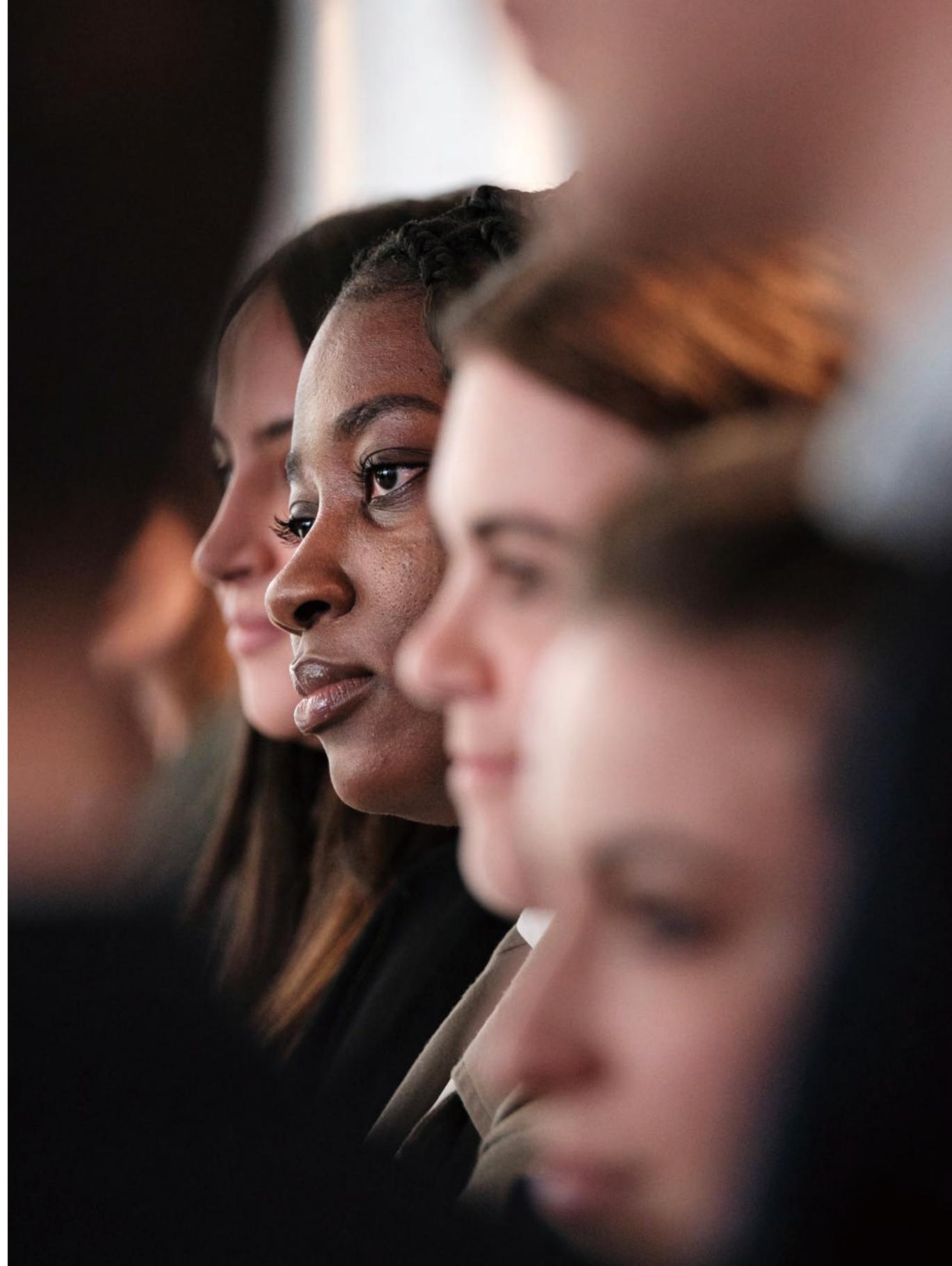
といったワークショップに参加します。「LIVE」プログラムに参加した人は、540時間に及ぶサポートプログラムを受講し、2週間の職業幹旋期間を経て修了します。各参加者のニーズに応じて、ジバンシイのチームからメンターが選任され、追加の就業サポートが提供されます。このプログラムが2020年に始めて以降、120人を超えるジバンシイのスタッフが、振り返りや交流、経験の共有を通して、「LIVE」プログラム参加者を支援しています。

私たちの住む地域には才能がある

(NQT: Nos Quartiers ont des Talents)

ジバンシイの主力生産工場があるボーヴェでも、2021年からメンター・プログラムを立ち上げています。これを実現するためにパルファム ジバンシイは、若者たちの雇用をサポートする「NQT」という、地域に

根差した非営利団体とパートナーシップを結び、約10人のスタッフが若者へのメンター役を担うのを支えています。



社会とのかかわり方の改革

アートと若者

私たちの目標

支援を最も必要としている若者に機会提供をするプログラムを通して、
若者たちと、彼らのクリエイティブ精神をサポートする。

ユベール・ド・ジバンシイの足跡をたどるように パリ国立高等美術学校(エコール・デ・ボザール)と その予備校ヴィア・フェラータとともに

ブランド創設者の遺志とその足跡をたどるように、
バルファム ジバンシイは大胆な発想と若者のエネルギー
に門戸を開いています。2021年9月からは3年間の
ヴィア・フェラータ・プログラムを通して、パリ国立高等
美術学校を支援しています。この高レベルな芸術教育
プログラムは、個別サポートと質の高い機材へのアクセ
スを提供するもので、様々な社会・文化・地域的背景
出身の50人の生徒たちに、高等美術学校への入学
試験に備える予備校を、無料で受講できる機会を与えて
います。バルファム ジバンシイの支援により、ヴィア・
フェラータの生徒数は、それまでの25人から倍に
なり、生徒たちとの作品制作プロジェクトや個人指導
も含まれます。

バルファム ジバンシイが支援した第2期(2022-
2023年)の卒業生たちは、98%が高等美術学校に
入学しています。そのうち14人は最高峰のパリ国立
高等美術学校へ進み、他の生徒たちもパリ=セルジー
国立高等芸術学校、ヴラ・アルソン国立高等芸術学校
(ニース)、HEARストラスブール(ライン地域高等芸術
学校)、国立高等装飾美術学校、国立デザイン高等専門
学校(École Bouille)で勉強を続けています。この
2022-2023年のクラスは、フランス全土からの様々な
社会・文化的背景をもつ生徒たちで構成され、コロン
ビア、ポーランド、ドイツ、ウクライナ出身者も含まれて
いました。彼らは650人を超える応募者の中から選ば
れています。



2022年10月

パリ 国立高等美術学校に おける ジバンシイの ワークショップ

「本質的には何もないものに、 形を与えることができるだろうか？」

この、一見逆説的ともいえる質問は、毎年バルファム
ジバンシイのチームとヴィア・フェラータの教育スタッフ
たちが共同で行う嗅覚ワークショップの中で、生徒たちが
答えなければならない問いになっています。2022年10月
に開催されたワークショップは、アーティストでありパリ
国立高等美術学校の先生でもある、ジュリー・ジェスランと
ローラン・ラコットが主導したもので、香りをクリエイティブな
媒体として利用した作品やアーティストたちと出会い、

1週間にわたってジバンシイのアイコン的フレグランス
のひとつ「ランテルディ オーデバルファム」をベースに
した制作作業が行われました。

何人もの著名な専門家たちが生徒たちに協力し、その中
にはジバンシイの「ランテルディ」を作ったマスター
パフューマーのドミニク・ロビンや、ビジュアル・アーティ
ストで、2021年に出版された「アートの匂い—嗅覚芸術
の全景」の著者、サンドラ・バレもいました。

チームの改革

ダイバーシティと インクルージョン

私たちの目標

差別を決して許さない

NFT (非代替性トークン):

アートがLGBTQIA+運動に参加するとき

パルファム ジバンシイは2年連続で、グローバルなデジタルキャンペーンの一環として、プライド月間に協力しています。

2022年も再び、ロンドンのギャラリーオーナーでLGBTQIA+活動家のアマール・シンと、アーティスト集団「リワインド・コレクティブ」のアーティストたちと共に、フランスの「ル・マグ・ジュヌ」という団体を支援するために販売する、新たなNFTデジタルアート制作に協力しました。

ジバンシイを象徴するルースパウダー「プリズム・リーブル」の暗号コードのようなモチーフや、LGBTQIA+フラッグのレインボーカラーもインスピレーションを受けた、このオリジナルのバーチャルアート作品は、モバイル上で取り引きできる、デジタルコレクティブグッズ販売のプラットフォームVeVeにて、1952点の限定シリーズとして販売され、全点が数時間で完売しました。

「ル・マグ・ジュヌ」は、LGBTQIA+の若者たちによって、彼ら自身のために設立されたフランスの団体で、“若いLGBT+の積極的差別是正運動”を意味します。LGBTQIA+の若者たち(15~30才)に焦点を絞っているこの団体は、その支援とガイダンスに集中しており、集められた資金によって、パリ中心部4区のカンコンボワ通りに、気軽に立ち寄れる集会所を運営しています。このスペースは様々なサポートや幅広い活動を提供することで、LGBT+の若者たちが孤立と闘うのを助けています。リヨンとクレルモンフェランにも新拠点が設置されており、パリを中心とするイルド・フランス地域圏とフランス南東部のオーヴェルニュ=ローヌ=アルプ地域圏において、この団体の発展をサポートするため、3人の若いスタッフも雇用されています。こうしたリソースがある「ル・マグ・ジュヌ」は、現在500人の若者たちの支援に当たっており、1600人を支援することを目標としています。

パルファム ジバンシイは L'AUTRE CERCLEの (ロートル・セルクル) コミットメント憲章に署名

2022年11月30日、パルファム ジバンシイ会長兼CEOは、職場におけるLGBT+ダイバーシティとインクルージョン推進に取り組むフランスの代表的団体「ロートル・セルクル」のコミットメント憲章に署名しました。このLGBT+コミットメント憲章は2013年に作られたもので、企業がダイバーシティの促進と差別防止のために、LGBT+問題を企業理念に含めることを奨励しています。

それは次の4つの主要要素に基づいています:

- LGBT+のスタッフにとってインクルーシブな環境づくり
- 性的志向や性自認に関わらず、スタッフ全員のための平等な権利と平等な処遇の確保
- 差別的なコメントや言動の被害者となったスタッフへのサポート
- 進捗度の測定や成功例の共有化で、全般的な就労環境を改善。

この憲章への署名の一環で、当社の人事チームは、「LGBT+ロールモデル」というネットワークを主導しており、そのコミットメントや可視化を通して、LGBT+の人々のポジティブなイメージ確立に貢献することが、彼らの使命となっています。

パルファム ジバンシイは フランスの男女平等指数 96/100を達成

そのスコアは職場における男女平等性についての2022年フランスの指数で、パルファム ジバンシイの法人組織:LVMHフレグランスブランドが達成しました。この高スコアはとりわけ、社内における10人の最高給与における均等性のほか、産休から復帰後に個人的な昇給を獲得した女性の比率が認められた結果です。

障がいのあるスタッフ数

15年以上にわたって、私たちは障がいのあるスタッフの採用と再教育に尽力してきました。パルファム ジバンシイは、フランスで2022年11月14日~18日に開催された、第26回欧州障がい者雇用週間に参加しました。この年、パルファム ジバンシイはボーヴェとヴェルヴァンの工場にて、フランス政府が奨励する「デュオデイ(DuoDay)」と名付けられた障がい者のためのオペレーションに参加しました。このデュオデイの狙いは、私たちが1日にわたって障がいのある人と身近に接して、その人たちが様々な職業について知るのを手伝ったり、新たな職業や協力の機会を促すことです。2つの工場では、11人の求職中の障がい者を受け入れ、5人はボーヴェで、6人がヴェルヴァンの工場でそれぞれ歓迎されました。パルファム ジバンシイにおける、2022年の障がいのあるスタッフ比率は6.33%です。

ユベール・ド・ジバンシイは 時代の潮流に逆らい、 そのファッションショーで インクルーシブを提唱しました。

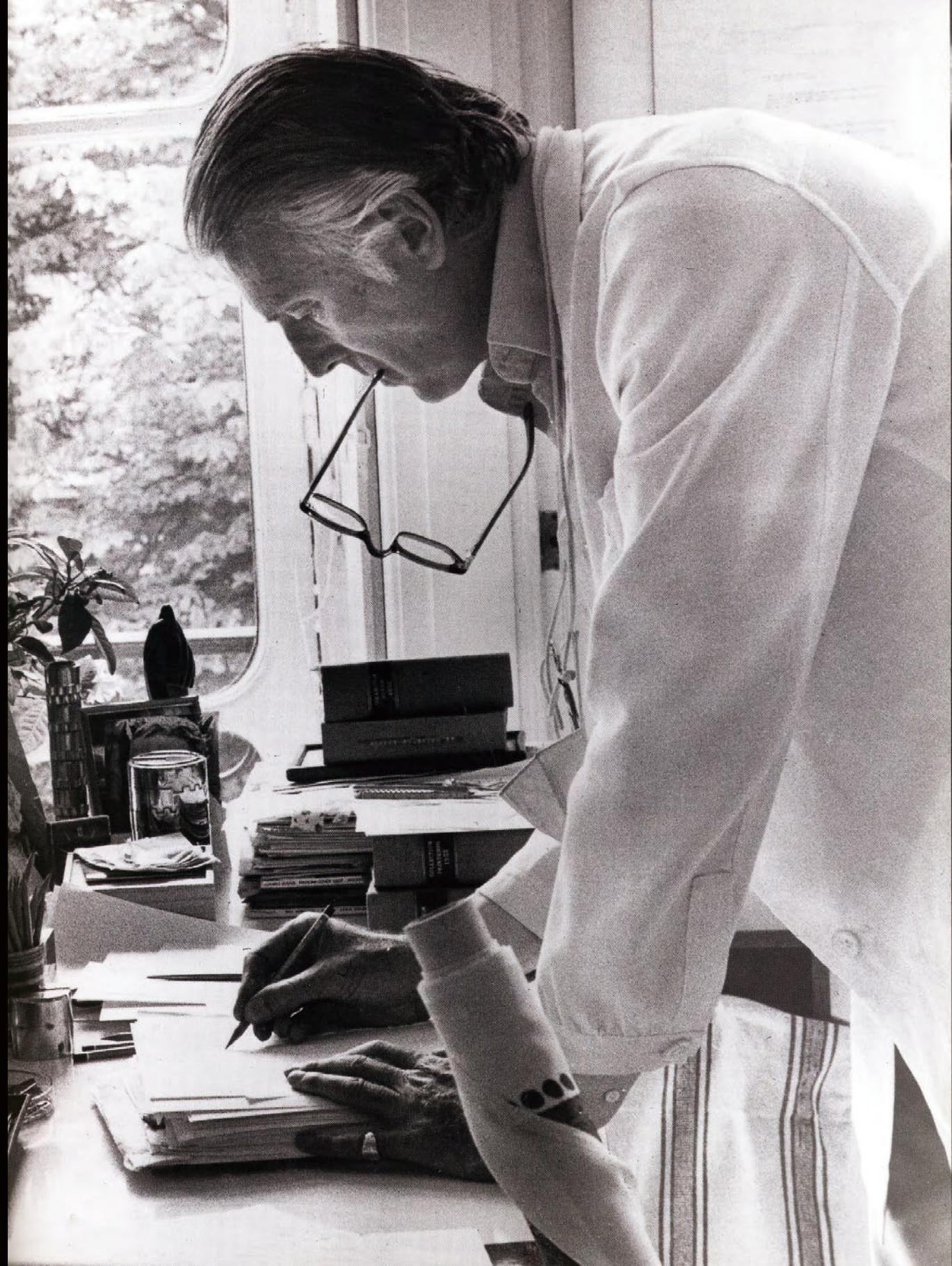
1973年11月、ヴェルサイユ宮殿が主催した「バトル・オブ・ヴェルサイユ」というファッションショーの競演イベントでは、5人のフランス人デザイナーと5人のアメリカ人デザイナーが、それぞれ多様な背景をもつモデルたちを従えて集結しました。このイベントは、フランスのファッション産業に小さな革命を巻き起こしたもので、それはまたアメリカのブレタポルテ・ファッションと、ファッション界全体にとっても、ひとつの転換期をもたらしたと言われます。

ユベール・ド・ジバンシイは1981年、オルリー空港でムーニャという名で広く知られる、スチュワーデスだった

モニーク=アントワヌ・オロスマヌに出会い、その気品とエレガンスにすっかり魅了されました。彼はすぐに、ランウェイを歩いてもらう機会を、彼女にオファーしたほどです。

当時の主流に逆らい、彼は自分のファッションショーでインクルーシブを提唱したのです。その結果、1986年春夏コレクションのランウェイでは、黒人モデルと混血のモデルたちが主役となっていました。

ユベール・ド・ジバンシイは彼自身の選択を通して、その現代性と偏見のない寛容さを示したのです。



パルファム ジバンシイ 2022年実績値

100%

ジバンシイの処方指針を
満たす新処方

60%

ジバンシイを象徴する成分で、
2021年にUEBT基準による
評価を受けた比率
(2021年時点では23%)

100%

FSC®(森林管理協議会)認証に
よる責任ある調達元、
または他の管理された
ソースからのパッケージ

100%

パルファム ジバンシイの
生産施設で低炭素電力を消費

+6%

フランスにおける
障がいのある従業員

96/100

フランスの男女平等指数

100%

LWG(レザー・ワーキング・グループ)
ゴールド認証の
皮なめし工場で加工されたレザー

-18%

フレグランス、メイクアップ、
スキンケア製品において、
プラスチック使用を削減した平均値
(vs2019)

28%

リサイクルまたは
バイオ由来プラスチックを使った
製品数
(2021年は7%)

+150

2020年以降にフランスで、
メンター・プログラムに
関与したスタッフ数

100

パリ国立高等美術学校での
ヴィア・フェラータ・プログラムとの
パートナーシップの一環で、
2021年以降に
支援を受けた生徒数

-7%

2022年の製造工場の
エネルギー消費削減
(vs2021)

100%

パルファム ジバンシイ
自社製造工場の
ISO14001認証

51%

リサイクル材料を使った
ガラスジャーとボトル
(2021年は25%)

パルファム ジバンシイについて

パルファム ジバンシイは1957年からずっと、創業者ユベール・ド・ジバンシイによって植え付けられた価値を守り続けています。大胆さとリインベンションする精神を原動力として、ジバンシイのメゾンは新たな表現領域を探りつつ、独自の美のイメージを提供することによって、常にイノベーションを図りつつ、自由でモダンなエレガンスのビジョンを提供しています。

『ランテルディ』から男性向け新フレグランス「ジェントルマン ソサイエティ」、『プリズム・リーブル』から『ルージュ・アンテルディ』、そして『ソワン ノワール』へと、そのフレグランス、メイクアップ、スキンケア ラインは一人ひとりの個性を讃え、クリエイティブな自由を提唱します。

その製品たちは、クチュールの世界から受け継いだ確固たる知識とノウハウの結果と言えるものです。

www.givenchybeauty.com/jp